

つよく・やさしく・心をこめて

三勲小だより



平成30年5月10日(木)

<全校朝会>

4月12日(木)に、96人の元気な1年生が入学してきました。多くの来賓の方々が見守ってくださる中、子どもたちは少し緊張した様子でしたが、たいへんよい態度で、しっかりとお話を聴くことができました。

翌日からいろいろな勉強が始まりました。1年生の子どもたちはとてもよい姿勢で、小学校生活についての話を聴いたり、勉強の基本となる姿勢や鉛筆の持ち方などを教えてもらったりしています。これからきっといろいろなことを覚えていくことでしょう。

入学式の時には歌えなかった校歌も、今はよく覚えて明るくかわいい声で歌っています。全校そろっての初めての朝会では次のような話をしました。

おはようございます。今日は1年生も入学してみんなそろって初めての全校朝会です。みんなとてもいい姿勢でお話を聴いていますね。

さて、皆さんは三勲小学校で自慢できることは何ですかと誰かに聞かれたらどのように答えますか。そのヒントはこの中にあります。(リコーダーで校歌を吹く♪)そうです。校歌です。この中に三勲小学校の自慢が隠れています。校歌は3番まであるから自慢は三つかな。

まず1番です。三勲小学校は操山と旭川というきれいな山と川に囲まれているということが歌われています。きれいな自然に囲まれている学校ですよというのが一つ目の自慢です。



2番には、「歴史の遠いかなたから伝えて残る教えこそ」という言葉がありますね。その続きは何かな?そうです。「強く、正しく、ほがらかな」と歌いますね。今はこれが少し形を変えて「強く、優しく、心を込めて」という合い言葉になっています。三勲小学校の子どもはみんないろいろなことに「強く、優しく、心を込めて」取り組みますよというのが二つ目の自慢です。

では三つ目の自慢は何でしょう?校歌の3番にあります。「みんな〇〇〇」そう、みんな仲よくできることです。この前の1年生を迎える会でもお話ししたように同じ学年だけでなく、いろんな学年の人と仲よくできるのが三勲小学校のいいところですね。

素晴らしい自然の中で、「つよく、優しく、心を込めて」みんな仲よくできるのが三勲小学校の自慢です。

あれ?もう一枚紙がありますね。校歌に4番はあったかな?ないよね。でも、校長先生は、今、みんながとてもよく頑張っているのもこれも自慢になるなということを見つけました。それは、あいさつと会釈です。「おはようございます」とか「こんにちは」など、はっきりとした声で言うのがあいさつです。会釈は?してみてください。・・・そうです。廊下などで先生やお客様に会った時などに黙って頭を下げるのが会釈です。新しい学年になって、あいさつや会釈ができる人が、とても多くなりました。この調子で頑張ればこれもきっと三勲小学校の自慢になって、校歌の4番ができるかもしれませんね。

今年もすばらしい自然の中で「強く、優しく、心を込めて」物事に取り組み、みんな仲よくして、校歌の4番になりそうな、あいさつや会釈も頑張っていきましょう。そうすれば、三勲小学校は岡山市で一番、岡山市で一番、日本で一番、世界で一番いい学校になることでしょう。

校歌を歌う時には校長先生のお話を思い出してくださいね。4番が作れる人は作っててください。これで校長先生のお話を終わります。



<三勲小の紹介>

去年の「三勲小の一部」を少し変えて、物に限らず、学校のいろいろなことを紹介していこうと思います。今回は校名についてです。

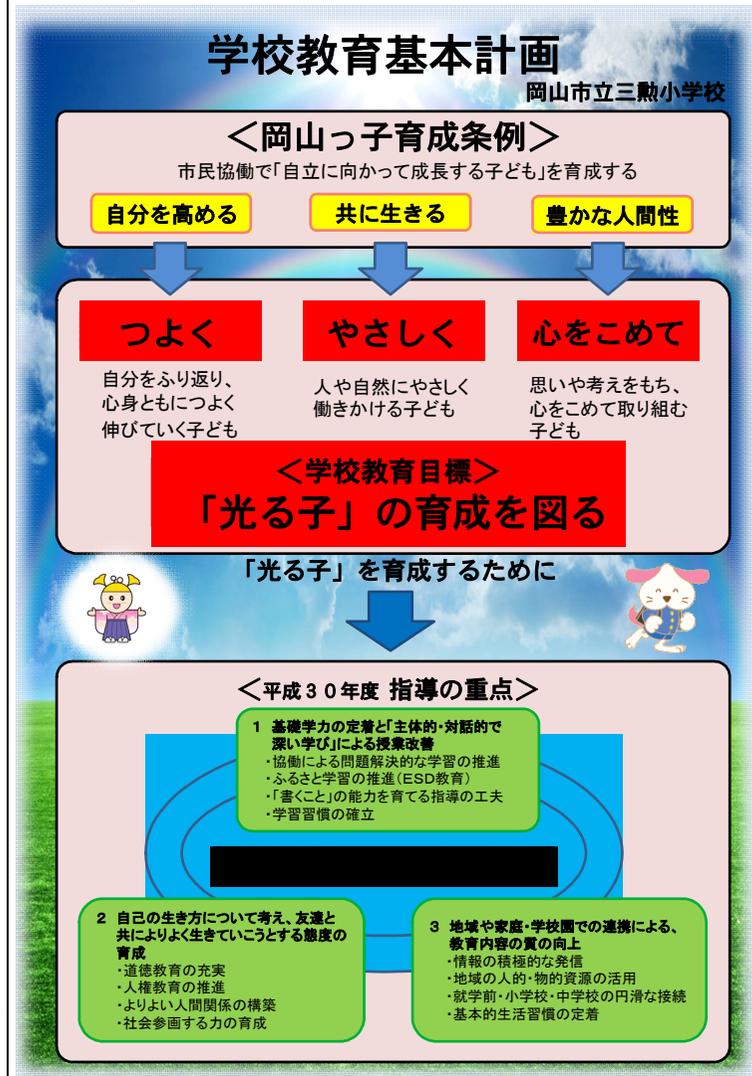
「三勲」という校名が和氣清麻呂、児島高德、楠木正行の三人が祭られていた「三勲神社」に由来するということがご存じの方も多と思います。

明治22年、合併によって、このあたりは上道郡三權(みさお)村と呼ばれるようになり「三權(みさお)尋常小学校」が門田に設置されました。そして明治32年に三權村が岡山市に編入され、「三勲(みさお)尋常小学校」と改名され、岡山市で6番目の小学校となりました。「三勲」と書いて「みさお」と読んでいたということあまり知られていないかもしれませんね。

その後、明治41年にこの「三勲尋常小学校」と「環翠尋常小学校」が統合して「旭東尋常小学校」となり、大正12年の分離により、今の三勲小学校が「三勲尋常高等小学校」として現在のところに設立されました。

<今年度の本校の学校教育基本計画です>

今年も、地域・保護者の皆様と力を合わせて子どもたちのよりよい成長のために頑張っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



<水の事故に注意しましょう>

これから梅雨の時期になり、川や用水の水が増えます。あまり深くないように見えても、思った以上に深かったり流れが急で足を取られたりして、たいへん危険です。学校でも、物をわざと流して遊んだりのぞき込んだり、足をつけたりしないように注意します。ご家庭でも、水の危険についてお子さんにお話してください。また、川遊びなどをする時には必ず大人の方がそばに付いていて目を離さないようにしていただきますようお願いいたします。